

消防団用エンジンカッター 取扱いマニュアル

K-760



目次

1 「概要」・「諸元」	2 P
2 「各部の名称」	3 P
3 「操作要領」	4~5 P
4 「保護カバー操作要領」	6 P
5 「切断刃取替え」	7 P
6 「保守管理」	8 P
7 「使用上の注意事項」	9 P
8 「使用状況例」	10 P

「概要」

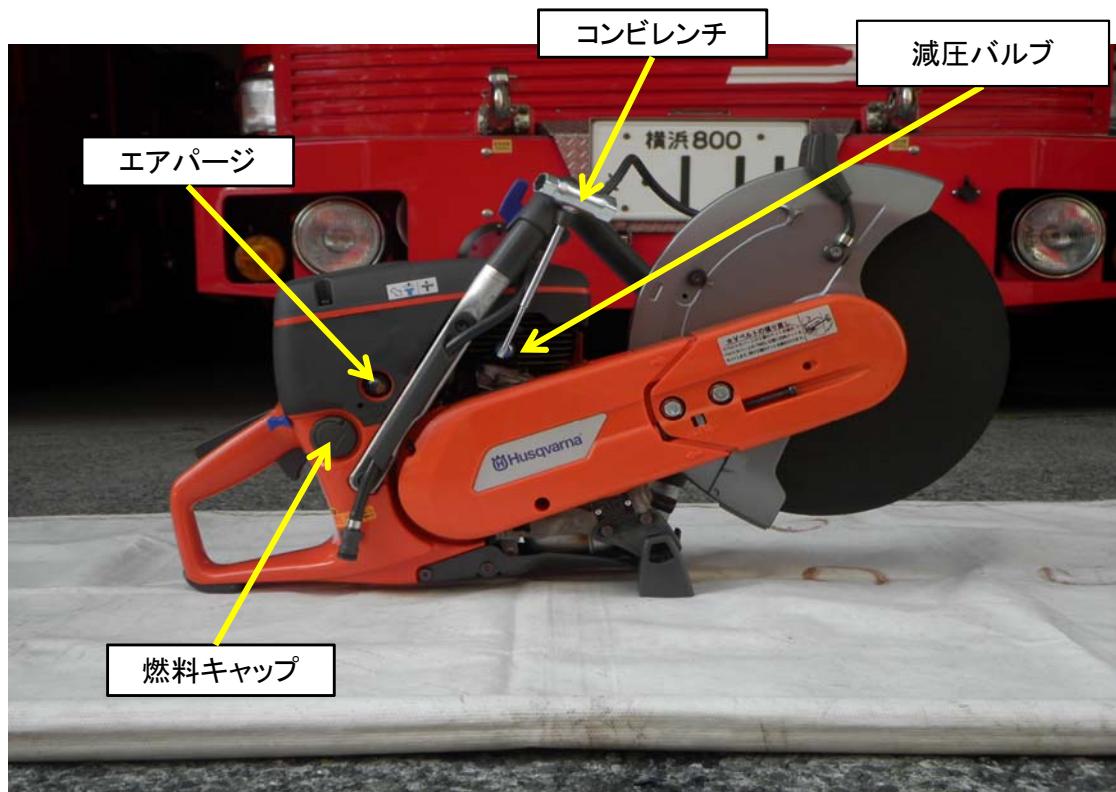
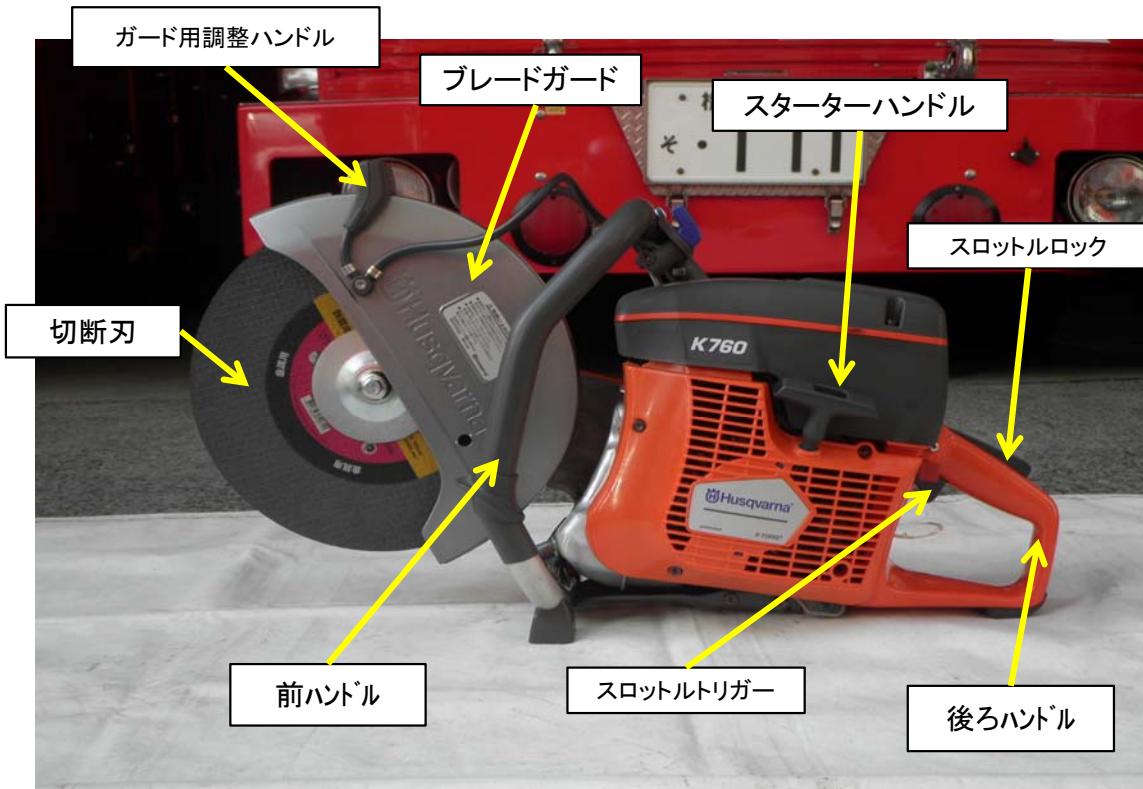
エンジンカッターは、軽量で持ち運び可能な切断器具で、切断刃を高速回転させて鉄やコンクリート等を切断することが出来る。

「諸元」



型番		K760レスキュー
エンジン	型式	空冷2サイクルエンジン
	排気量	74 cc
	点火方式	電子点火方式
	スパークプラグ	チャンピオン CJ 7 Y
	気化器	ダイヤフラム方式
燃料	混合比	25：1 (専用オイル使用時 50：1)
	混合オイル	2サイクル専用オイル
カッターディスク(外径×内径)		12
本体乾燥総重量		9.4 kg

「各部の名称」



「操作要領」

《始動》①



燃料の量を確認する。

②



「切断刃」の取付状況、
「保護カバー」の角度を確認する。

③



「エアページ」を数回押し、内部
に燃料が満たされるのを確認する。

④



青色の「デコンプバルブ」を押す。

⑤



青色の「チョーク」を引く。
※エンジンが冷えている時等に使用する。

⑥



保護帽を着装する。

⑦



前と後ろに人が居ない事を確認する。

⑧



左手で**「前ハンドル」**、右足で**「後ろハンドル」**をしっかり押さえ、
「始動索」を引く。

⑨



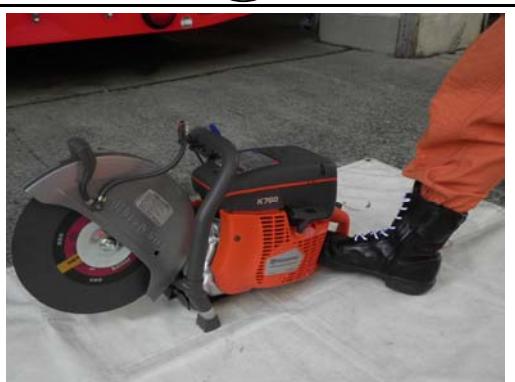
始動後、「**後ろハンドル**」を握り、「**スロットル**」を全開にしてエンジン回転を安定させる。

⑩



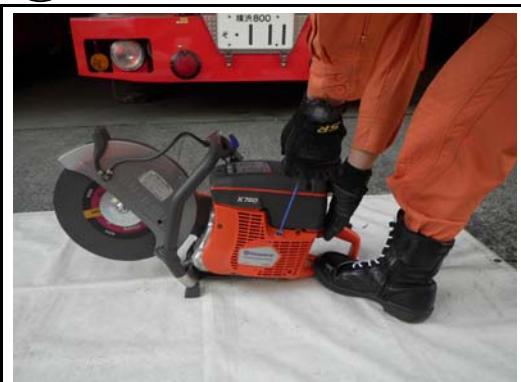
足は肩幅程度開き、左足を半歩前に出し切断開始する。

《停止》①



右足で**「後ろハンドル」**をしっかり押さえる。

②



左手で**「始動索」**を少し引き、右手で**「停止ボタン」**を押し、停止させる。

エンジン停止後も**「切断刃」**が完全に停止するまで動かない。

「保護力バー操作要領」

①



右足で「後ハンドル」を抑える。

②



「調整ハンドル」と「保護カバー下部」を握り、切断中操作員に火花が掛からない適正な角度に調整する。

※例



適切な角度(保護カバー下端を切断物に出来るだけ接近させる)に
設定すれば切断中の火花は操作員に掛からない。

「切斷刃付替え要領」

①



「専用レンチ」を使い、「切斷刃」を押さえながら中心のネジを回す。

②



ネジが緩んだら、金具と一緒に
「切斷刃」を取り外す。

③



「切斷刃」を交換し、
再度締め付ける。

④



交換後、「切斷刃」が
正しく真っ直ぐに
取り付けられているか確認する。

「保守管理」



使用後は清掃を実施する。



エンジンの掛かりが悪い場合は、「スパークプラグ」を確認し、必要があれば拭き取り等の処理をする。



使用後、「切断刃」の状態を確認する。

切断刃が擦り減り、交換が必要であれば「切断刃」の交換を行う。



「駆動ベルト」のゆるみの有無を確認する。

「使用上の注意事項」



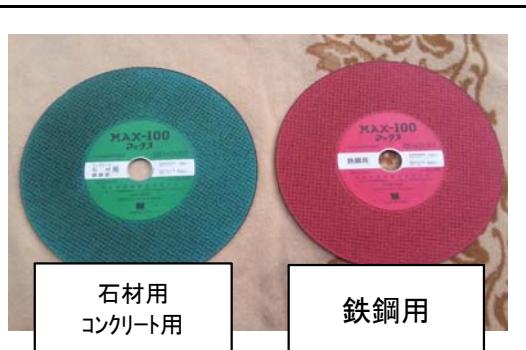
切断時、「スロットル」は全開で行う。



切断中は、切断刃の後方直線上に足を置かない。



「保護カバー」は下端が切断物に出来るだけ接近するよう角度を調節する。



「切断刃」は切断材に適した刃を選定して確実に固定する。
※取付けの認められていない切断刃は使用しないでください。



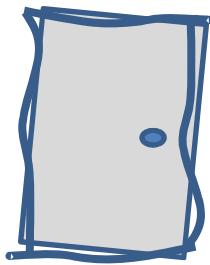
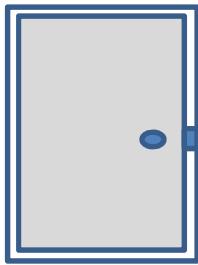
「換気の悪い場所」、又「引火及び発火の危険が予想される場所」等では使用しない。

「使用状況例」

【切断作業】

〈例〉

- ・鍵の掛けたドア、変形や歪みで開かないドア
- ・建物の窓やガレージ等のシャッター
- ・倒壊した建物の壁や床等の破壊



【破壊作業】

〈例〉

- ・倒壊した建物等の瓦礫

